



議会だより よつかいどう



発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



上段：新成人のつどい（平成31年1月13日）

下段：消防出初式（平成31年1月12日）

表紙写真
募集！

議会だよりでは、市民の皆さまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。
詳しい募集要領は市議会ホームページをご覧ください。

主な内容

- 市民アンケート集計結果
……………2～3
- 主な議案の概要及び
委員会審査概要…4～6
- 議決結果一覧……………7
- 一般質問……………8～13
- 委員会行政視察レポート
……………14～16

次回の定例会は2月25日～3月20日の予定です

代表質問及び一般質問は3月6日～8日の予定です。

3月定例会の会期日程案は16ページまたは市議会ホームページをご覧ください。

本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。

（生中継と録画中継があります）

市議会ホームページアドレス

<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/index.html/>

または議会事務局 TEL 043-421-6152（直）までお問い合わせください。



市議会アンケートにご協力 ありがとうございました!

四街道市議会では、昨年11月1日より20日まで、市内在住の18歳以上の市民2,000人を無作為抽出し、市議会に関するアンケート調査を行いました。695人の皆さまがアンケートにお答えいただき、34.8%の回収率でした。まずは、1回目のご報告をさせていただきます。

ご回答頂いた方は男性、女性はほぼ同数でしたが、年代別では、50代・60代・70代で59%となっています。10代の方からも回答を頂きました。

また、居住年数30年以上が46%で、家族構成は、1世代（夫婦だけ）42%、2世代（親と子）が41%でした。

◆選挙

市議会議員選挙については、「毎回投票する」が49%、「ほぼ毎回する」が25%と高い数値でした。

一方、投票しない理由は、「関心がない」35%、「ふさわしい議員がない」が20%でした。

◆市議会の活動

「市議会の活動をご存知ですか」という質問には、「よく知っている」と「やや知っている」の合計が45%、「あまり知らない」と「知らない」の合計が55%で過半数の方がご存知ないのが分かりました。

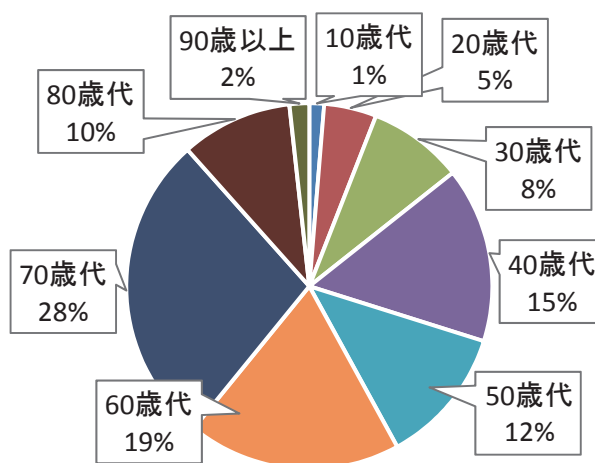
◆市民の声の反映

「市民の声が議会に反映されているか」では、「思わない」と「あまり思わない」の合計が38%、「わからない」が46%でした。反映されていない理由で最も多かったのは「対話が少ないから」の54%でした。

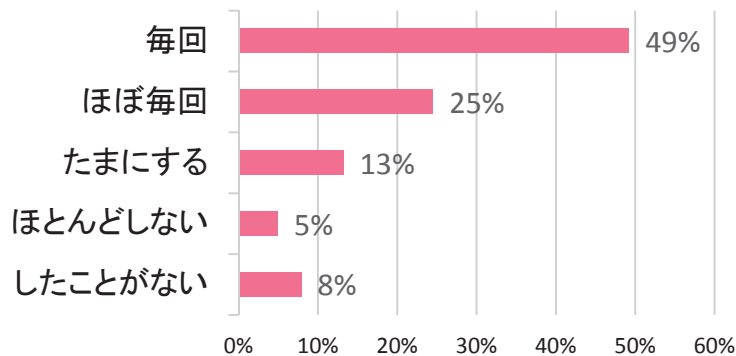
◆市議会や議員に何を望みますか

という質問には、「住民意見の把握」19%、「地域の課題解決」18%、「行政のチェック」12%、「定数・報酬の見直し」11%でした。

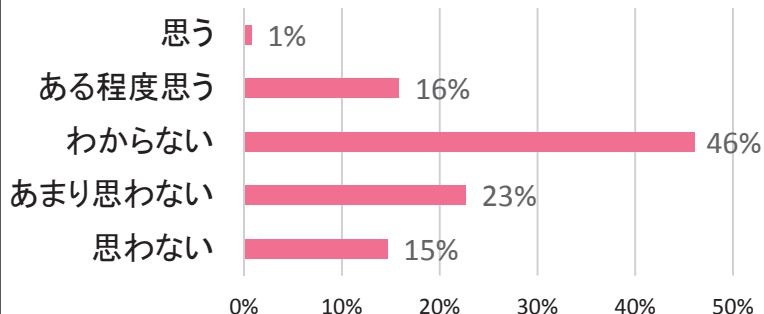
年代(有効回答数690)



問7 市議会議員選挙(有効回答数680)



問9 市民の声が議会に反映されているか
(有効回答数675)



◆議会だより

議会だよりは年間4回発行し、議案審査や議員の質問内容などを掲載しています。

「議会だより」については、「毎回読む」と「たまに読む」の合計が64%でした。

「議会だよりの見やすさ」の質問には、「まあ良い」が最も高く46%でした。

「読まない理由」の質問には、「関心がない」28%、「文字が多い」が26%でした。

◆議会報告会

「議会報告会」は、「知らない」が34%、「参加したことがなく今後も行かない」が48%でした。

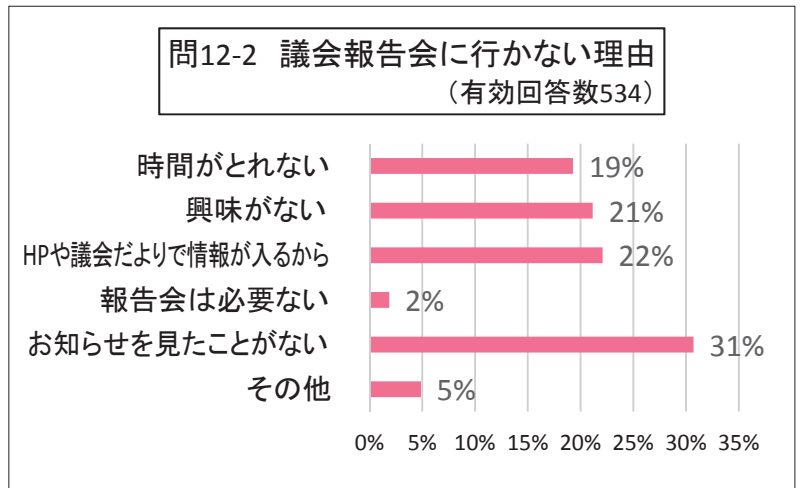
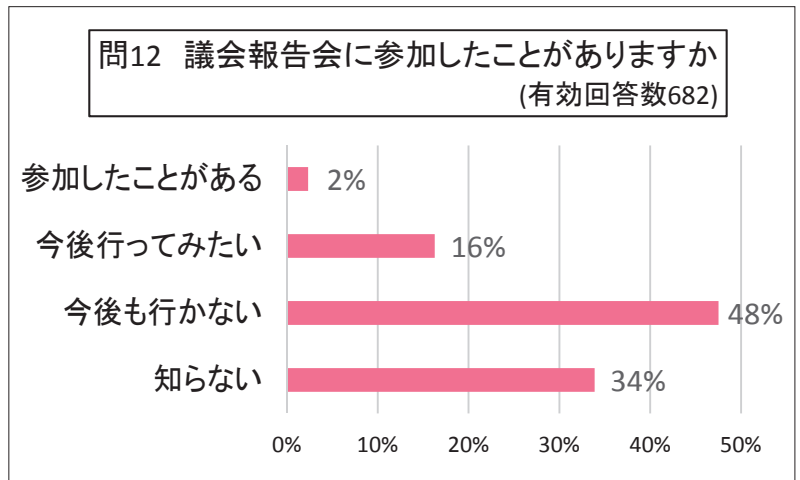
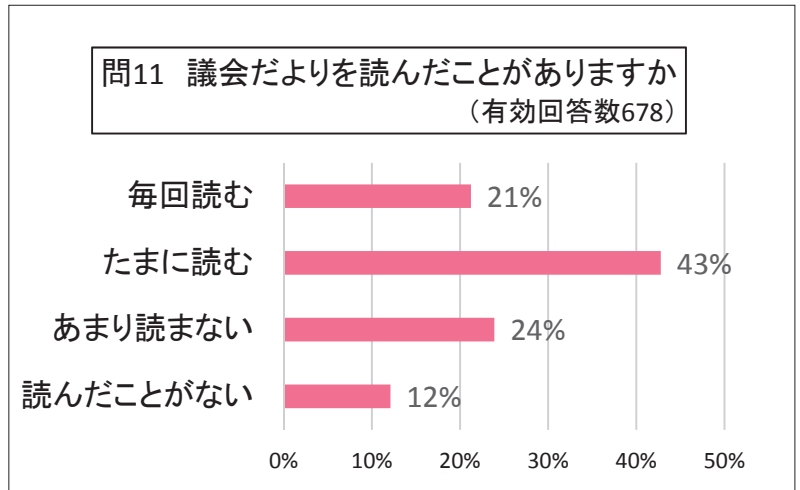
また、「議会報告会に行かない理由」で最も多かったのが、「お知らせを見たことがない」の31%でした。

自治会回覧や駅頭などでのチラシ配布も行っていますが、まだまだ浸透していない様子が分かりました。

全議員が参加する議会報告会は、平成26年度から年間2回開催し、議員と市民皆様との意見交換も行っています。

市民の皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加ください。

「四街道市議会に関する市民アンケート」調査報告書の内容は、市議会ホームページでご覧いただけます。



175人の方からご意見・ご要望を頂いています!

今回の市議会アンケート裏面の自由記述に175人もの方より様々なご意見・ご要望を頂いております。重複するものもかなりありますが、議会に対してのご意見や提言、市の財政や道路、四街道駅北口整備やごみ問題、子育てや保育所関連など多岐にわたる内容となっています。

今後、議会として、これらのご意見やご要望を、議会運営委員会と3つの常任委員会、広報広聴特別委員会で分担し、調査、検討したのち、順次、議会だより等でご報告をいたします。しばらくのお時間を頂きたいと思っております。

ご意見、ご要望を頂き、ありがとうございました。

主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、条例の制定及び改正、指定管理者の指定、平成30年度一般会計・特別会計補正予算など22件の議案と、陳情5件の審議や議決が行われました。
主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。

(議決結果一覧P7)

総務

議案第8号 四街道市文化センターの指定管理者の指定について(可決)

【提案理由】 本案は、四街道市文化センターの管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。

【質】 利用が少ない会議室について、指定候補者から、使用料条例より安価な料金設定にすることを提案されているが、市の考えはどうか。

【答】 割引料金設定については、一部の会議室等の利用率が低いため提案されたものと理解している。弾力的な運用、新たなサービスについては、今後、指定候補者と協定締結に向けて協議をしていく考えである。



鹿放ヶ丘ふれあいセンター

議案第9号 四街道市鹿放ヶ丘ふれあいセンターの指定管理者の指定について(可決)

【提案理由】 本案は、四街道市鹿放ヶ丘ふれあいセンターの管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。

【質】 経費の縮減方策として、夜間の利用がない場合に閉館することが提案されているが、市の

考えはどうか。

【答】 夜間の利用は少ない状況だが、条例で閉館時間が午後9時までと定められていること、また、学習室など予約を必要としない施設利用や、各種問合せ等も想定されることから、現状では難しいと考えている。

議案第16号 平成30年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億9879万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ267億9883万6千円とするものである。

債務負担行為については、会計年度任用職員制度導入支援業務委託ほか19件を追加するものである。

〈総務常任委員会所管事項〉

【質】 債務負担行為補正のコンビニ交付システム構築委託について、国の財源措置などはあるか。

【答】 平成31年度までの導入については、総事業費の2分の1をサービス開始年度から3年間受けられる国の特別交付税措置が

ある。

陳情第14号 四街道市財政の正確な詳細分析に関する陳情(不採択)

【質】 陳情の理由の中に、『当然、増加すべき将来の社会保障関係経費の伸びが考慮されていない』という指摘があるが、市の考えはどうか。

【答】 9月議会で説明した公債費20年間の償還見通しは、平成29年度決算をベースとし、社会保障関係経費等の不確定要素を除き償還計画を示したものである。除いた理由は、社会保障関係経費が20年間という長期間においては、人口推計や税制その他の法改正の影響等を大きく受ける不確定要素であるため、要因として加えることが困難なためである。

都市環境

議案第4号 四街道市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

【提案理由】 本案は、旅館業法

の一部改正に伴い、本条例の引用条項を改正する必要が生じたため提案するものである。

質 旅館業法の改正内容と条例改正について、具体的な説明を。

答 旅館業法において、それぞれ規定されていたホテル営業及び旅館営業が、『旅館・ホテル営業』と営業種別を統合する一部改正があったため、条例において引用している条項を整理するものである。条例の該当部分は、近隣に大学がある鷹の台住宅地区における学生対象の下宿営業に関する用途規制を除外する規定である。

議案第10号 四街道市都市公園の指定管理者の指定について（可決）

【提案理由】 本案は、四街道市都市公園の管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。

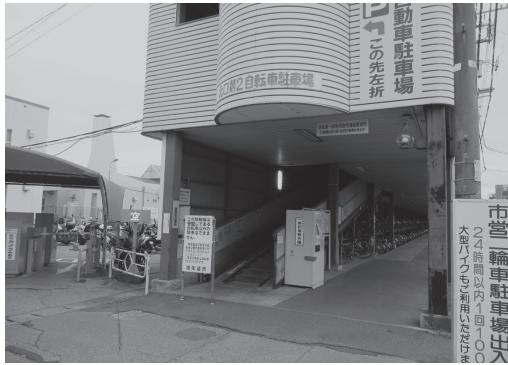
質 都市公園、総合公園それぞれについて、前回と今回の金額の差は。

答 前回の平成26年度と比べ、都市公園分については、都市公園及び都市緑地の増加により、7億5683万円から6%

増の8億283万5千円と、約4600万円の増額となっている。総合公園有料公園施設については、利用料金制の導入等により、約1億5400万円の減額となっている。

議案第11号 四街道市営駐車場及び四街道市営自転車駐車場の指定管理者の指定について（可決）

【提案理由】 本案は、四街道市営駐車場及び四街道市営自転車駐車場の管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。



四街道駅北口第2自転車駐車場

質 選定評価表にある『新たなサービスの方策』とは何か。

答 指定候補者独自の防犯カメラの新設及び増設、北口駐車

場内の自動車とバイクの利用状況に応じた駐車台数調整や券売機に関する24時間の苦情対応などの方策が提示されている。

議案第16号 平成30年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）

〈都市環境常任委員会所管事項〉

質 鹿渡南部特定土地地区画整理事業関連事業の訴訟代理委託料4791万6千円について、その算出根拠と成功報酬の割合は。

答 旧千葉県弁護士会報酬会規を参考に算出すると、訴訟額14億円を基礎額とした標準額は約6800万円となるが、事件の内容等により30%の減額となった。また、成功報酬割合は約4%である。

議案第21号 工事請負契約の締結について（可決）

【提案理由】 本案は、山梨臼井線橋梁築造工事（上部工）について請負契約を締結するため提案するものである。

質 今年度の支払予定額と国の交付金などの財源内訳についての説明を。

答 今年度は、消費税込の契約

額の20%である1億6千万円を前金として支払う予定である。財源については、国の交付金を事業費の50%と見込み、残りについては、公共債と一般財源を充てる見込みである。

教育民生

議案第6号 四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、提案するものである。

質 代替保育が提供される場合の小規模保育事業A型事業者等と同等の能力を有すると本市が認める者とは、具体的にどのような方か。

答 小規模保育事業A型事業者は、原則すべての職員が保育士だが、同等の能力と認める者としては、B型事業者などを想定し、保育士以外の職員として、子育て支援員研修修了者、看護師などが考えられる。

議案第13号 四街道市総合福祉センターの指定管理者の指定について (可決)

【提案理由】 本案は、四街道市総合福祉センターの管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。

質 ボイラーの故障により休止しているお風呂部分を、フリースペースとして利用することが指定候補者から提案されているが、市の考えは。

答 指定候補者からの新たなサービスの方策として提案されたことについては、今後の協議で対応していくことになる。

議案第15号 四街道市立公民館の指定管理者の指定について (可決)

【提案理由】 本案は、四街道市立公民館の管理を指定管理者に行わせるため提案するものである。

質 来年4月からの公民館有料化についての事務や運用について、指定管理料に含まれているか。

答 使用料徴収に係る事務などを指定管理料に含めている。



四街道公民館

議案第16号 平成30年度四街道市一般会計補正予算(第4号) (可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉

質 小学校施設設備維持管理事業281万4千円について、具体的な内容は。

答 四和小学校で、来年度、普通教室が1教室分不足することが見込まれるため図工教室を普通教室に改造する工事費が、105万4千円。旭小学校プール棟が、9月30日から10月1日の台風により屋根に被害を受けたことなどの補修復旧工事費が、176万円となっている。

議案第17号 平成30年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (可決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4028万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ93億9795万6千円とするものである。

質 保健事業費一般事業の短期人間ドック助成金125万円について、前年度の実績と今年度見込み数は。

答 平成29年度の実績は938件であった。今年度当初の受診見込み数は、1100件であったが、今回50件分の追加を見込むものである。

陳情第11号 「平成31年4月1日より公民館利用の有料化には、大義がありません。再検討を」に関する陳情 (不採択)

質 公民館の有料化に関する比較検討に陳情にある八千代市との比較をしなかった理由は。

答 八千代市は9つの公民館のうち、使用料の設定があるの

は、1つの公民館のホール部分だけであるため、有料になった場合の比較は行わなかった。

陳情第12号 公民館使用料等有料化の説明会(30・5・28)、「概要の掲示」に関する陳情 (採択)

質 この陳情の趣旨は、3つの公民館における説明会でどのような内容であったかを各公民館に掲示して欲しいというものだが、教育委員会の考えは。

答 説明会の要旨を公民館に掲示したいと考えている。

陳情第13号 国民保養センター鹿島荘の浴場廃止について「平成29年6月28日全員協議会資料」の訂正に関する陳情 (不採択)

質 全員協議会資料の写真①は水道管からの漏水という認識で、写真②は、温水管から漏水があると予測しサーモグラフで撮影した写真と認識して良いか。また、温水管位置図の実線は温水管で間違いないか。

答 資料の写真①と②について、それぞれ認識のとおりである。また、位置図の実線が温水管で間違いない。

平成30年第4回（12月）定例会議決結果一覧

○：賛成 ×：反対 退：退席

番 号	議 案 名	結 果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	岡田哲明	※戸田由紀子	石山健作	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	四街道市霊園事業特別会計設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	四街道市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	四街道市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	四街道市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	四街道市ひとり親家庭等医療費等助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	四街道市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	四街道市文化センターの指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	四街道市鹿放ヶ丘ふれあいセンターの指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	四街道市都市公園の指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	四街道市営駐車場及び四街道市営自転車駐車場の指定管理者の指定について	原案可決(賛成多数)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	四街道市国民保養センター鹿島荘の指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	四街道市総合福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	四街道市温水プールの指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	四街道市立公民館の指定管理者の指定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成30年度四街道市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成30年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成30年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成30年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成30年度四街道市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	工事請負契約の締結について	原案可決(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	教育委員会委員の任命について	同意(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
陳情第11号	「平成31年4月1日より公民館利用の有料化には、大義がありません。再検討を」に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第12号	公民館使用料等有料化の説明会(30.5.28)、「概要の掲示」に関する陳情	採択(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
陳情第13号	国民保養センター鹿島荘の浴場廃止について「平成29年6月28日 全員協議会資料」の訂正に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第14号	四街道市財政の正確な詳細分析に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×		×	×	○	×	×	×	×
陳情第15号	市民参加条例情報公開に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×		×	×	○	×	×	×	×

※議長(戸田由紀子)は、採決には加わりません。

一般質問

第4回定例会では12月6日から7日、10日から13日までの6日間、17人の議員による一般質問が行われました。その中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所本館2階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索（第4回定例会分は2月下旬公開予定）でご覧いただけます。



市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/index.html/>



四街道市の明るい未来のために
坂本弘毅議員

問 子育て日本一の街づくりを目指している本市が何故ことも医療費助成制度の見直しをするのか。

答 子育て関連経費の増加や審議会からの提言もあり、自己負担導入の方向性を示したが、再度、制度の適正利用や医療費動向等を検証しつつ検討することとした。

問 物井1号線は朝夕の交通量も増え、通路として非常に危険であるため、信号機を設置できるように公安委員会と早急に協議をして欲しいがどうか。

答 関係する区・自治会からの要望があれば、実施主体である千葉県警察本部及び千葉県公安委員会に対し、四街道警察署を通じて要望する。

問 部活動指導員の派遣に関し、各中学校からの要望状況と来年度に向けての対応はどのようになっているか。

答 全ての中学校から派遣希望があり、要望に沿って配置している。来年度も要望に応じて配置予定である。

問 公民館のトイレを洋式化にして欲しいとの要望が多数寄せられているが、早急に対応はできないか。

答 すでに多くのトイレが洋式化されている。今後も施設の維持管理に努めていく。

問 買い物に不便をきたしているいわゆる「買い物難民」といえる高齢者が増加しているが、市として積極的な対策を講じることができないか。

答 今後も市内連携を深めるとともに、国の動向を注視するなど、引き続き情報収集を図り、具体的な移動支援の方策の実現に努める。



生きる力を育み、
健康寿命を伸ばす街
栗原愛子議員

問 小学校学習指導要領が改正され、2020年4月1日から施行することだが、国語教育の指導計画の作成はどうなっているのか伺う。

答 単元などの内容や時間のまとまりを見通して主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること、言語活動を通して自分の思いや考えを深める学習の充実を図ることなどを考慮して、作成している。

問 国語科の内容構成はどうなるのか伺う。
答 内容構成については、新学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」に構成し直された。

問 国語教育は学校、家庭や地域の連携、協力が重要であるが、教育委員会としての考えを伺う。

答 家庭教育は、学校教育との緊密な連携により、国語教育をはじめ、学習に向かう姿勢や子どもの人生観、生きる力を育む基礎であると考えている。

問 「歯と口腔の健康づくりの推進条例」が策定されたが、条例策定の経緯は。

答 歯や口の健康は全身の健康ほど重要性が認知されていない状況があり、歯科口腔保健の推進を強化し市民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与するため制定した。

問 本市の年間歯科医療費と、一人あたりの年間医療費はどれくらいか伺う。

答 平成29年度は5億9324万7533円、一人あたりでは2万5586円である。



財政構造の改善に向けた
取り組みについて
清宮一義議員

問 財政構造の硬直化は改善しなければならぬ市政の課題であるが、この難題を解決するための目途はついたか伺う。

答 経常収支比率については、経営改革会議において、95%以下を目指し、全庁を挙げて取り組んでいるが、引き続き厳しい状態である。経常収支比率を改善していくためには、より一層の行財政改革により、歳入確保、歳出削減に努めていく必要があると考える。

問 都市計画道路3・3・1号線の国道51号からみそら間の市施工と区画整理施工全路線の完成までの工期は、

答 都市計画道路3・3・1号線の国道51号からみそら間の市施工と区画整理施工全路線の完成までの工期は、市施工区間を平成33年度末完成予定、組合施工区間を今年度末完成予定と伺っていることから、全路線の完成は、平成33年度末予定である。

問 来年度から新たな指定管理契約となるが、総合公園内のスポーツ施設において、利用時間及び開館日の充実について盛り込まなかった理由は、

答 施設運営経費の増加で指定管理者の収支が圧迫される懸念があることや、経年劣化による施設修繕箇所が増加で、点検等のために休館日が必要と考えたからである。ただし、新協定で利用料金制度を導入することから、利用時間の拡充は協議により可能と考えている。



最重要課題中断で市長の責任は
大谷順子議員

問 市庁舎整備を中断せざるを得なかった市の財政状況について、市民へどのような説明をするのか。

答 今年度中に中期財政見通しを作成し、公表することにより、財政の透明性を高めていきたい。

問 中断せざるを得なかった要因分析は行ったのか。また、今後の財政管理についての考え方を伺う。

答 事業費増加は建設資材等の高騰が主な要因であり、オリンピック終了後に、建設資材の単価等を見極め、庁舎整備の時期を判断していく。財政運営にあたっては、普通建設事業を抑制しつつ、公債費の増加に備え、市債管理基金等への積み立てを進めていく。

問 9月議会の総務常任委員会で、20年間の償還見通しの試算が出され49億円の財源不足が初めて明らかになった。そもそも市長は、将来財源不足に陥るといふことを、どの段階でいつ頃から認識していたのか。

答 後期基本計画等の策定作業及び決算統計調査の公債費見込みにおいて、把握・認識をしていた。

問 市の最重要課題である市庁舎整備と次期ごみ処理施設建設が中断することになった。市長としての責任をどのように考えているのか、市民に対し何か言うことはないのか。

答 市庁舎整備予算を再議に付しても、予算通過は不可能なため断念したが、今後も行革を推進する中で財源を確保し市庁舎整備を進めたい。次期ごみ処理施設建設は、可能な限り早く対策や県との協議を進め、市民生活に支障をきたさないように努力を続けたい。



財源不足！
検証・改革・情報公開を！
大越登美子議員

問 長期欠席児童生徒が通う「ルームよつば」において、指導員の増員要望とパソコン整備の状況について伺う。

答 学校教育相談室「ルームよつば」の指導員については増員していきたいと考えている。学習用パソコンについては、関係各課と連携し、整備に努めていく。

問 経営改革会議で中期財政見通しを公表することが決定されたのか伺う。

答 経営改革会議で決定したのではない。今回、5か年分の財政見通しを、年度別で公表したいと考え、判断した。

問 実施計画も公表するという認識でよいのか伺う。

答 現在検討中で具体的な内容は言えないが、基本計画の進行管理については、市民の皆様にはわかりやすい内容で、公表できるように努めていきたい。

問 今後5年間予定されている大規模事業といわれる事業名と金額を伺う。

答 市庁舎整備の延期等の影響を考慮した事業費については、現在作成中の財政見通しの中で検討している。

問 中・長期財政見通しはどこでもやっている。これまでの検証と第三者をいれた改革と市民への情報公開が必要であると思うが、考えはいかがか。

答 議会及び市民の皆様方に理解いただける行財政改革にしていきたい。長期の財政見通しは変動要素が多いので、中期見通しをしっかりと出していきたい。



風疹の実態と対策
高橋絹子議員

問 関東を中心に流行している風疹だが、本市においての患者数の状況は。

答 市町村別データはないが、11月18日時点の県内累計患者数は310人であり印旛管内は19人の状況である。

問 現在の助成の状況は。

答 市では、MR1期の定期接種を受けていない2歳から年中児の接種費用を全額負担しているほか、公費による妊婦健診において風疹抗体検査を実施している。また、県では妊娠希望の女性や妊婦のパートナーを対象に、無料で風疹の抗体検査を実施している。

問 県制度の周知方法は。

答 妊婦相談時等で随時情報提供を行うほか、市ホームページで風疹の注意喚起情報に県ホームページへのリンクを貼っている。

問 国においても今後、第2次補正予算において盛り込まれるようだが、国の制度より先んじて、千葉市では、30代から50代の男性や、又、妊娠を希望する方やそのパートナーを対象に、予防接種を無料で行う助成を始めており、他市では、3千円の助成をするなど何らかの制度を始めている。本市においても子供にやさしい街四街道として前倒しで行うべきと思うが如何か。

答 引き続き幼児の接種率向上に努め、県の抗体検査の周知等行いながら、国の第2次補正予算等関係機関の動向を注視し、新たな情報には迅速に対応していく。



抜本的な行革の断行を
森本次郎議員

問 新庁舎建設の再着手にあたっては、「公共施設の床面積2割減」を掲げていることから、更なる床面積縮減を目指すべきではないか。

答 現在の設計は効率性等に配慮しながら、標準面積よりかなり削減した内容であるが、今後も面積を含め設計内容を更に精査し事業費の縮減に努めていく。

問 市民に負担増をお願いする以上、定員適正化、人件費抑制、残業削減など、行政自身の課題に積極的に取り組めないか。

答 職員数の適正化、長時間勤務の抑制については、第8次行財政改革推進計画の項目に取り込みたいと考えている。また、フルタイム勤務の再導入により、短時間勤務の再任用職員を減じるとともに、新規採用を抑制し、職員総数を抑制することを考えている。

問 「ふるさと納税」をもっと活用すべきである。楽天リーベイツやワウマを利用した訴求力向上の取り組みをすべきと思うがどうか。

答 サイトを経由することから、市が利用するための経費など、費用対効果を見ていく必要がある。

問 可燃物収集は祝日の収集が休みだが、来年の10連休に関しては、祝日でも収集を行うべきであると考えているが対策は。

答 来年の大型連休中、ご不便をお掛けする事のないよう特別収集日を検討し、前もって市政だよりや回覧等により周知を図る。



財源不足を市民負担増に？
阿部百合子議員

問 子どもの医療費「助成額の減少」は財政が厳しいことを理由の一つにしているが、市のシテイセールスとも言える完全無料の内容を変えることを、市民は支持してくれると考えているのか伺う。

答 自己負担導入に抵抗感を持つ方がいる旨は承知しているが、負担感が無いことから不要不急な受診例も否定できず、市民の意見は賛否両論あると考える。

問 公民館は住民の生涯にわたる学習権を保障する公立の社会教育施設。「受益者負担」の考えはなじまないと考えるがいかがか。

答 公民館は市民の皆様にもいつでもご利用いただける施設である。使用料をご負担いただくことで、公民館の利用が制限されるものではない。

問 小学校の英語専科教員は、次年度も採用予定か。

答 配置されるよう県に要望している。

問 今年9月から部活動指導員の配置がされたが、教職員の受け止め方はどうか。

答 指導者が増えたことにより活動の際の安全がより確保されるようになったことと併せて、教員の部活動の指導時間が削減され、負担の軽減になっている。

問 ブロック塀の耐震修理は、住宅リフォーム助成制度の適用が可能か、確認したい。

答 「住宅リフォーム補助金制度」の適用について、ブロック塀を改修する場合、対象となる場合があるが、対象要件を確認する必要がある。



市長の政治姿勢を問う

阿部治夫議員

問 ごみ処理施設建設は、当初の計画どおり進捗しているのか伺う。

答 都市計画の変更や生活環境影響調査は、計画どおり進んでいる。しかし、土壌調査で基準値を上回るフッ素及びその化合物が検出されたことから、隣接地主及び施工者に対し、土壌調査を実施するよう行政指導をしている。今後、深度調査を行い対策を検討していくため当初の予定からの遅れは否めない。

問 市役所庁舎の耐震化と一部建て替えを実施するとあるが、9月議会で補正予算が否決された。その後の対応について伺う。

答 審議結果を真摯に受け止め、現計画を延期する。今後は設計内容について更に精査を重ね、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催後に、事業費を再算定し、適切な実施内容及び実施時期について改めて判断する。

問 鹿渡南部土地区画整理事業で、平成30年9月に、千葉地方裁判所から「棄却」の判決が言い渡されたが、判決後の市の対応状況について伺う。

答 現時点における組合の正確な負債金額と資産を確定するとともに、債務の処理や残事業の整備などをどのような方策で実施するかを具体化するよう指導しているところである。



都市計画道路の早急な見直しを！

栗原直也議員

問 大型事業のコスト増や社会保障費の伸びを正確に見通す事が財務担当の重要な責務と考えるが如何か。

答 人口や高齢化率の推計をはじめとして、社会保障制度の動向等に注視しながら、様々な情報の把握に努め、的確に財政の見直しを作成して行きたいと考える。

問 早急に都市計画道路の見直しに着手し、その建築制限に対する合理的根拠とすべきと考えるが如何か。

答 都市計画基礎調査や道路交通センサスなどの結果等を踏まえ、県から新たな都市計画道路見直しガイドラインが示された時点で、再度検証していく。

問 鹿渡南部土地区画整理事業の事業終了に向けた、市と組合とのスキーム作成について如何考えるか。

答 区画整理組合により、債務処理、残事業の運営方針など、確実かつ実効性のある具体的なスキームを早期に構築することが、必要不可欠だと考えている。

問 障害者優先調達推進法の運用状況について伺う。

答 市内福祉事業所で結成された「四街道市障がい者しごと受注協議会」と福祉作業所に市の業務を発注している。業務の内容は、市有地の草刈りや公用車の清掃、製本作業や封づけ等、多岐に渡っている。



ごみの減量化と環境問題について

西塚義尊議員

問 指定の袋以外でのごみ出しや、ごみ集積所以外への投棄などルール違反のごみ出しの対応について、事例ごとにどのように対応しているのか伺う。

答 分別不良や出す日が違う、袋が違う、他市町村の袋の使用等には、理由を記載した「収集警告シール」を貼り、正しい排出指導を行う。集積所以外への投棄は土地所有者の責任で処理を行う必要があるが、状況に応じ警察、市役所への通報をお願いしている。

問 ごみの種類を50音別に細分化して、ごみ出しの方法をわかりやすくする「ごみ分別早見表」を作成し、全国の自治体に参加できる「ごみ分別促進アプリケーション」さんあくる」を導入すべきと考えるが如何か。

答 「ごみ分別早見表」は効果が期待できることから作成を進める。「アプリケーション」は近隣自治体の動向や市民ニーズ、費用対効果等を検証する。

問 地球環境問題としてプラスチックごみの問題が注目されている。国際的な課題ではあるが、私たちの暮らしの中でできることもあると考える。四街道市として、この問題にどのように取り組んでいくか伺う。

答 プラスチック・ビニール類の排出抑制、再使用することを、引き続き市政だより等で広報していく。併せて、イベント時におけるエコバッグの無料配布や、買い物袋持参運動を推進していく。



戦略性のある行政運営を
成田芳律議員

1 災害時の避難所運営について

問 避難所の開設に関し、着替えやトイレ、授乳場所といった配慮についてどのようになっているか伺う。

答 着替え場所は、男女別に更衣室を設置する。仮設トイレは就寝場所に臭いが届かない場所で、女性用は明るく避難所に近い場所に設置する。育児室や授乳室は、泣き声などの配慮から就寝場所から離れた場所を確保する。要配慮者に対しては体育館など広い場所では、環境の良いところを優先的に割り当てるよう配慮する。

2 定住促進について

問 現状どのように取り組んでいるか伺う。

答 総合計画前期基本計画において、子育て世代を中心とした若い世代の転入促進・定住促進の観点から、子育て支援などをはじめとする特に先導的な役割を担う事業を設定し、重点的に推進する「四街道未来創造プロジェクト」により、定住促進等に取り組んでいるところである。

問 今後の事業展開を伺う。

答 今後、平成31年度を開始年度とする「後期基本計画」においても、この考え方を踏襲し、新たに地方創生における結婚や雇用に関する取組などを加え、前期基本計画のプロジェクトを発展させた「四街道未来創造プロジェクトII」により、定住促進等に取り組んでいくものである。



人と地域を生かす
共生社会の構築を目指して
清水清子議員

一人ひとりがあらゆる分野で互いに支え合う共生社会の構築を目指して以下伺う。

1 共生社会の構築の1つに防災・減災における共助の強化が求められる。

問 自主防災組織の整備と強化を目指して防災人材の育成への取り組みは。

答 自主防災組織の設立推進と防災人材、特に地域の防災リーダーの育成は急務であり、市としても今年度から防災リーダー育成のための研修を予定している。

問 避難所運営に対し、補助金を交付する考えはあるか。

答 避難所運営委員会への直接的な補助金は、今後の課題として認識している。

2 多文化共生社会を目指す市内在住外国人について

問 子育ての現況と課題は。

答 子育て制度の利用はあるものの、母国語しか理解できない方も増え対応に苦慮する例があり、多言語による情報提供の在り方など課題となっている。

問 教育の現況と課題は。

答 本人、保護者と学校、教育委員会が面談を行い、日本の教育課程や配慮事項を確認し、編入している。また、語学指導員の派遣等、支援に努めている。

3 福祉に関する総合支援について

問 子育て包括支援センターがあるが取り組みは。

答 妊婦全員面接を実施し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援のほか、問題等を抱える家庭には関係機関が連携し、よりきめ細やかな支援を行っている。



大規模な汚染残土持込の
原因と責任の徹底究明を
津島秀樹議員

問 新庁舎建設は、財源不足が指摘され、先送りとなったが、設計の抜本的な見直しで、建設費の大幅な縮減を真剣に検討すべきだと思うが如何か。

答 事業費の縮減は事業遂行の重要な課題の一つと考えており、今後も可能な限りの縮減に努める。

問 新ごみ処理施設建設予定地で汚染物質が検出され、入札も中止になった。その原因と責任を明確にすべきだが、土壌汚染対策法での今後の予定と課題は。

答 深度調査の範囲を確定するための絞込み調査を実施している。その結果、対策を施さなければならぬが、千葉県及び指定調査機関の指導を仰ぎ進めていく。

問 ごみを減らすために、有料にするとのことだが、雑紙の分別資源化や生ごみの堆肥化を強力に推進すれば減量は充分可能だと思いが、取組の現状と課題は。

答 雑紙は分別の啓発や集団回収事業の団体に積極的な収集を依頼し、堆肥化はモニターを募集し、実践している。課題は更なる分別・減量意識の向上を図ることである。

問 首都圏唯一で老朽化の極みの東海第二原発で重大な放射能事故が起これば、当市でも深刻な被害が想定されるが、市民の安心・安全を守る対策は充分か。

答 東海第二原発から約100kmに位置する当市は、風向き等により放射能の影響の及ぶ可能性は否定できないものの、市民が避難の対象となる被害が発生することは、想定していない。



公共施設関連及び防災について
岡田哲明議員

1 市庁舎整備計画について

問 五輪終了時点での資材や人件費が現状より安価になる保証はなく、逆に大阪万博の影響が懸念される。市は現計画とは別に代替案作成に取り掛かるべきと考えるが如何か。
答 大阪万博の影響は不明だが、庁舎の課題を的確に解決するため、専門家の意見を踏まえ、さらに市民参加を経て策定した現計画に沿うことが適切と考える。

2 郷土歴史館について

問 郷土歴史館建設にあたり、市の考えを伺う。
答 市教育委員会は、歴史民俗資料館の整備は必要であると考えている。市総合計画後期基本計画の中で位置づけられるよう努める。

問 場所の選定等、市から予め案を提示することは出来ないか伺う。
答 市教育委員会としては、候補地の選定までには至っていない状況である。今後、市公共施設等総合管理計画に基づく再配置計画などにおいて考える。

3 防災について
問 災害対策本部の機能強化に向けた取り組みについて伺う。
答 地域防災計画に受援体制として受援統括班の創設、震災対策幹部職員研修、災害対策本部設置運営訓練などで機能強化を図っている。

問 緊急支援物資の搬入ルートについて伺う。
答 非常事態に対応した交通路の確保を図る為、緊急輸送道路として高速道路、国道、県道の4路線を県で指定している。



安心・安全のまちづくりについて
長谷川清和議員

1 主要地方道千葉臼井西線について

問 四街道十字路から千葉方面に向かう歩道は、幅も狭く、洗濯板のような、いわゆる波乗り歩道になっており、千葉県印旛土木事務所により、毎年、解消工事が実施されているが、今年度はどのような工事が予定されているか把握しているか。
答 主要地方道千葉臼井西線のバリアフリー工事は、今年度より、四街道十字路の隅切り付近の工事を優先して実施し、工事完了後に千葉方面へ向かう工事を順次進める予定と千葉県印旛土木事務所より伺っている。

2 四街道駅北口広場の改修について
問 整備されてからすでに30年近くが経過し、各施設の老朽化が目立ってきているが、以下2点を伺う。
答 噴水の現状と今後の対策は、平成23年7月以降稼働を停止しており、停止当時から7年が経過し配管等の経年劣化が著しいことから、撤去する考えでいる。

問 ムクドリの大群により、鳴き声による騒音や路面へのフン害等の被害が発生している。その対策として、ムクドリを駆除している駅前広場内の銀杏の強剪定を予定しているか。
答 ムクドリの大群により、鳴き声による騒音や路面へのフン害等の被害が発生している。その対策として、ムクドリを駆除している駅前広場内の銀杏の強剪定を予定している。



住みよい街づくりに向けて
山本裕嗣議員

今、4人に1人が65歳以上の高齢者で、人口推計から見て今後も増える見込みであり、少子化を抑える対策についても進んでいない状況である。多くの自治体が少子高齢化、人口減少の対応に悩んでいる。また、高齢者を狙った特殊サギは、巧妙化した手口により、騙されたことが後になって判明するなど深刻な社会問題になっていることなどから以下伺う。

空き家、空き店舗対策について。

問 空き家対策は、「四街道市空家等対策計画」の策定に向け、庁内の関係課の意見を集約するとともに、空家等対策協議会を開催し、専門的な意見をいただいている。空き店舗対策は、今年度より空き店舗等補助申請を書類選考のみとしたことで、より使いやすい制度となっている。
問 道路、大日中央商店会の歩道整備。
答 大日中央商店会の歩道整備は、破損の進行している箇所を補修すると千葉県印旛土木事務所より伺っている。

問 ワクチン接種と各種検診状況。
答 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実績は、10月末で1826人。インフルエンザワクチンは10月末で5167人。65歳以上の検診受診者数は、胃がん検診2589人、大腸がん検診4967人、肺がん検診4689人など。個別検診は2月末まで実施する。

問 今年度のサギ被害状況と対策について。
答 被害件数は16件、総額は約1869万円、ともに前年より減少している。高齢者が集う催し等で、詐欺の手口や対策を紹介する啓発活動を行っている。

委員会 行政視察レポート

総務常任委員会

日程 平成30年10月17日～18日
視察先 (1)小千谷市 (2)上越市
視察内容

(1)小千谷市

「中越大震災ネットワークおぢや事業」は、被災地自治体職員が地震発生後の混乱や戸惑いの中で試行錯誤し、マンパワー不足の解消や、知識蓄積の共有化ネットワークづくりの必要性を痛感したため発足したものの、

事業の根幹は応援職員派遣活動で、り災証明書発行などの災害対応業務や台風浸水被害の支援活動など多岐にわたって行っている。また、住家の被害認定調査実地研修会等を毎年開催している。

(2)上越市

「災害対策について」

自主防災組織結成状況は94%。人材育成として防災士養成事業を行い、防災士の中から防災アドバイザーを委嘱し(現19名)自主防災組織未結成の町内会支援等に取り組んでいる。また、災害発生時の市議会及び議員の

行動指針を策定し、災害対策本部が迅速かつ円滑な応急復旧に専念できるよう、側面から必要な協力、支援を行うことを定めている。



小千谷市にて

【視察を通して】

災害時市議会行動マニュアルの策定を視野に入れて視察した。四街道市はコンパクトで都市型。崖崩れや水害の心配も無い。地盤も強い。だから安全な市である。と、ほとんどの市民が思っている。しかし、大型の台風や地震などに対し都市型の備えは万全か。課題山積である。帰宅困難者対応、高齢化の進展、そして独居の世帯も今後ますます増えていく。地域の自主防災組織は機能しているか等、課題に対し、市民の身体、生命、財

産を守るべく今回の視察を一過性にすることなく委員会として、一議員として推し進めていくことを確認し合うことが出来た。

(成田 芳律記)

教育民生常任委員会

日程 平成30年10月24日～25日
視察先 (1)姫路市 (2)小野市
視察内容

(1)姫路市

「学校教育の情報化推進事業」は姫路市総合計画改定に伴いスタート。

小中学校103校全て同じ教育環境で情報活用能力の育成を図るため、4人に1台のタブレットPCと大型ディスプレイ・電子黒板機能付きディスプレイ、書画カメラ及び指導者用PCを全ての普通教室(約1700室)に配備している。

教職員へのアンケート調査では、教材作成や授業準備の効率化、児童生徒の情報収集能力やコミュニケーション能力の向上、学習への理解度向上などを評価する意見が多かった。児童生徒からも「授業がわかりやすい」、「グループでまとめたり楽しかった」、「プレゼンテーショ

ン用の資料作成が楽しかった」などの意見が多かった。

校務支援システム導入・運用開始については、出欠管理機能、通知表作成機能、指導要録作成機能や保健管理機能により各種書類の作成時間短縮が図られ「校務削減効果があった」と評価する意見が多数あった。

(2)小野市

「夢と希望の教育」は、「教育は脳を健全に育てること」を提唱する東北大学教授川島隆太氏を平成17年10月より小野市教育行政顧問に迎え、脳科学を取り入れた独特の教育プログラム。

教育の基盤は家庭教育。特に小学校入学前の就学前教育は重要な役割であるとして胎児・義務教育終了までの16年間を夢と希望の教育の期間とする。

川島氏の研究では「脳の司令塔」である「前頭前野を鍛える」ことが生きる力を生み、こころの教育に繋がるとのこと。具体的には、計算や漢字の反復練習で脳の前頭前野を活性化させる「おの検定」や「検定」で間違いが多かったデータを集計した「まちがいランキング」を授業にフィードバック活用する取組などが挙げられる。

脳科学を取り入れた教育は、今日の課題である学力不足の払

拭、キレる子ども増加問題、小1問題、不登校問題、特別支援教育の問題等の解決を図れるとのことであり、また、「おの検定」も市内全ての児童生徒の学力の把握と傾向がわかることなど興味深い内容であった。

(岡田 哲明記)



姫路市にて

都市環境常任委員会

日程 平成30年11月7日～8日
視察先 (1) 知多市 (2) 瀬戸市
視察内容
(1) 知多市
「家庭系収集ごみ有料化の実施について」

知多市では平成29年度4月から、ごみの減量と資源化推進のため「家庭系収集ごみ有料化」

を開始。家庭から出るごみ処理費用の一部を、指定ごみ袋を購入して頂くことで負担する方式(手数料は1リットルあたり1円～1.1円)で実施している。手数料の設定は「ごみ処理費用の負担割合、先行自治体の手数料設定状況、料金水準による減量効果、1世帯1カ月あたり手数料の4点を考慮した」とのこと。

市民への周知は、地区説明会(75回開催)を中心として、出前講座の実施、地域意見交換会、広報「ちた」、ホームページ、地区回覧や冊子とパンフレットの全戸配布、メディアへの情報提供等により行っていた。

市民の主な反対意見は「税の二重取りではないか」、「有料化する前にごみの減量や資源化の施策を進めるべきではないか」、「不法投棄が増加するのではないか」、「リバウンドが発生するのではないか」等があった。

ごみの減量に関しての市民意識については、「自分の問題として取り組もうという意識が高まり、実際に、導入から1年半が経過して、ごみは対前年度比で約16%減少した」とのことであった。

家庭系収集ごみの有料化について、もろ手を挙げて賛成する市民はほとんどいない。「有料

化」により、確実にごみの減量化が進むことを市民の方々に詳しく説明することが必要だと思ふ。知多市の先進事例を四街道市でも参考にしていきたい。

(2) 瀬戸市

「空き家対策について」

平成28年3月に「瀬戸市空家等対策計画」を策定し、空家プロジェクト」を策定し、空家等対策事業を実施。具体的には、空き家バンクの運営、中心市街地空き家等対策補助事業、空き家ツアーの実施や空き家等相談会などの実施。平成29年度は、空き家等利用促進補助事業、ムーブイン応援補助事業、3世代同居・近居応援補助事業などに取り組んでいた。

瀬戸市は歴史のある陶都であるが、四街道市と比較すると空



瀬戸市にて

家の戸数が約3200戸と約10倍多い。相続放棄や所有者不明の空き家等々、手に負えない空き家が多くあり、いくら対策をとっても追いつかないのが現状とのことであった。

四街道市もこれから空き家の増加が見込まれる。空き家対策は、早期発見・早期対策が重要。瀬戸市では自治会と連携をとって、空き家対策を行っていると同った。四街道市でもこの視察で学んだことを活かしていきたい。

(関根 登志夫記)

議会運営委員会

日程 平成30年11月14日～15日
視察先 宇都宮市文化会館
視察内容 第13回全国市議会議長会
研究フォーラム

第1部 基調講演

中央大学法学部教授の宮本教授の基調講演は「『共生社会と地方自治体』をどうつくるか」2040年を超える自治体のかたち」。人口減少社会の自治体が直面する2040年問題についてピンチをチャンスに、チャンスを実現にする道として、定年退職者の地域デビューを支援することで困窮と孤立を

超えて、「誰もが人材」「生涯活躍のまち」が実現できるとあった。チャンスを実現化するためには政治の役割が大きい。行政部局の縦割りを超えて、雇用の部局や地域の企業を福祉の包括支援につなぐことや「ずっと出番」のメニュー作りなどが必要であると講演された。

四街道市で考えられる事は、「地域デビュー塾」の開催やシルバー人材センターの機能強化等が挙げられる。

第2部 パネルディスカッション
「議会と住民の関係について」では、特に、議員の成り手不足問題が提起された。議会・議員の魅力の衰退、地域力の低下に対して、元熊本県人吉市議の本田氏から、住民から信頼される要素として「住民参加型の活動に積極的に参加し、住民との距離を近いものにして、その中で問題を把握することが大切である」と指摘があった。

宇都宮市議会議長の小林氏からは「大都市の市議会議員選挙において、住民と議会の関係を近づけるためには、大選挙区の解消も方法の一つ」と提案があった。

第3部 意見交換会
宇都宮市の特産物等の紹介を受けつつ、全国から集まった市



課題討議の様子

議会議員が一同に会した意見交換会が行われた。

第4部 課題討議
「議会と住民の関係について」の事例報告では議会改革の先進事例として、議会報告会の失敗からの逆転の発想や様々な失敗例と対応例の紹介があった。

四街道市で活かすためには、いかにして議会に警戒心を持つ方、あるいは無関心な、特に働き盛り・子を持つ親世代の市民に、これまで議会に届けにくかった声なき声を語って頂くかである。

未来に向かってどんな街にしたいのか、そのための課題は何かを市民と議会が垣根を越え、雰囲気よく一緒に話し合う場を作ることが大切であると考える。

(関根 登志夫記)

3月定例会 会期日程案のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/24	25 本会議 開会	26	27	28 本会議 議案審議(質疑) 予算審査特別委員会 設置・付託	3/1 都市環境 常任委員会	2
3	4 教育民生 常任委員会	5 総務 常任委員会	6 本会議 代表質問・一般質問	7 本会議	8 本会議	9
10	11 予算審査 特別委員会	12	13 予算審査 特別委員会	14 予算審査 特別委員会	15	16
17	18 予算審査 特別委員会 [総括]	19	20 本会議 閉会	21 春分の日	22	23

本会議の開会は午後1時(予定)です。

※会期日程等は変更になる場合がありますので、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。 TEL 043-421-6152(直)

編集後記

平成最後の漢字一文字は、「災」でした。12月議会では、防災関連の質問が多かったです。「天災は忘れた頃にやってくる」身の回りの備えと心構えを日頃から意識していきたいものです。

次期ごみ処理施設用地フッ素問題をうけ、委員会において調査をしていく方向です。懸念される市庁舎整備も今後の動向を

注視していきます。

そして、もっとも公表すべきものは、財政状況であり、不測の事態に対応できるかが問われます。今後も議員一同気を引き締め、「災い転じて福となす」ピンチをチャンスにしていく所存です。

(大越 登美子記)

